

## ■ 会議主旨

近年、家庭教育力の低下が指摘される中、様々な状況にある子育て中の保護者が、家庭教育を担う力を自ら養うために、保護者の役割を認識し、子どもとともに学びあうことが求められています。

第29期横浜市社会教育委員会議では、幼稚園・保育園・小学校の園長・校長及び保護者を対象に「家庭教育に関する意識調査」を実施し、家庭教育における現状と課題を明らかにした上で、家庭教育力向上のための基本目標を設定し、具体的な取組みについて協議しました。

## 3 家庭教育力向上のための基本目標と取組

### 保護者自身の実践

#### 保護者

1 基本的な生活習慣の定着

2 思いやりや我慢の心の育成

3 親子でふれあう時間づくり

#### 子どもの自立心の育成を

- ① 早寝・早起き・朝ごはんの習慣づけ
- ② 自分でできることは自分でやる習慣づけ

#### 友達や周りの人との関係づくりを

- ① 人と協力する体験
- ② 様々な年齢の人と触れ合う機会

#### 子どものこころを受けとめるゆとりを

- ① 親子でふれあう時間づくり
- ② 休日の体験学習への参加

それぞれの習慣づけを親子の約束事として取り組み、一日の正しい生活リズムをつくる

子どもの努力を認めて褒めながら、片付けなどを習慣づける

友だちと協力する体験等を通して他者との関係づくりの基礎をつくる

近所で行われる行事等を通して、家族以外の人と触れ合う体験をし、他者との関係づくりの基礎をつくる

食事の場など親子のコミュニケーションを図る機会を積極的につくり信頼関係を築く

身近な地域や学校で行なわれる行事へ親子で参加することを通して、親子の会話を広げ、絆を強める

### 地域・社会全体で支える仕組みづくり

#### 園・学校

1 保護者どうしのつながりづくり

2 園・学校と保護者とのつながりづくり

#### 行事等を利用し気軽に話せる工夫を

- ① 学校行事運営や学校環境整備等の作業への協力依頼
- ② 園・学校参観日における情報交換

#### よい関係づくりのためのコミュニケーションの工夫を

- ① 学校行事運営や学校環境整備等の作業への協力依頼
- ② 保護者参加による授業等の実施

学校美化清掃などの保護者への依頼を通じてつながりをつくる

参観日等を利用し、保護者同士の意見交換の時間を設定し、情報交換を深める

学校行事運営の協力を通じて学校と保護者との連携をつくる

保護者の授業参加を通じて園・学校への相談のきっかけをつくる

#### 地域・社会

1 子どもが社会参画や社会貢献できる力の育成

2 子どもが安心して遊べる環境づくり

3 将来親になる世代への子育て(家庭教育)学習や体験機会の充実

4 企業におけるワーク・ライフ・バランスの推進

#### 「子どもはみんな社会の子」という親心で見守りを

- ① 地域でのボランティア活動参加の仕掛け
- ② 園・学校登下校時の見守り活動への参加

#### 身近な場所で子どもがのびのび遊べる取り組みを

- ① 市内プレイパーク等での見守り参加
- ② スポーツ施設や社会教育施設等での参加プログラムの充実

#### 親子の絆を強める体験学習を

- ① 乳幼児をもつお母さん・お父さんの体験話を聞く機会の設定
- ② 乳幼児に直接接することができる場の設定

#### 家族で過ごす時間の確保のための工夫を

- ① 家族と一緒に過ごす日の設定
- ② 職場の仲間同士の情報交換の場づくり

ボランティア活動を通じて保護者同士のつながりをつくる

地域で子どもを支える風潮をつくる

子どもがのびのび遊ぶことで自立心を育む

文化や知識を得ることにより、主体性や協調性、自己選択力の育成を図る

命の大切さを学び、親子の絆を強める機会をつくる

乳幼児への理解を深め、思いやりの心を育成する

残業をせず家族と過ごす時間を増やすことでゆとりをもって子育てができる

子育てについて職場でも気軽に相談し合えるような環境をつくる

## ■ 提言概要

### 1 家庭教育力の現状について

家庭教育に関する意識調査結果等から

- ① 家庭教育における保護者の悩みとして「友だちや周りの人との関係」「学力や将来の進路」「しつけや教育方針」をあげている。
- ② 園長・校長の約98%が家庭教育力は低下していると回答し、特に基本的な生活習慣の徹底を保護者に求めている。また、保護者自身も基本的な生活習慣の徹底は保護者の役割であると認識している。
- ③ 周囲からの支援がある保護者の方が、子育てに関する満足度が高い。
- ④ 保護者は、「安心して遊べる公園や遊び場の設置」「子どもが体験活動を行う機会の提供」を求めている。

### 2 家庭教育力向上に向けた課題

家庭教育は主として保護者が行うものであるが、様々な社会的要因が家庭での教育に大きな影響を与えており、地域社会全体が協力しあい、子育て家庭を支える役割を担っていく必要がある。

#### 1 家庭における保護者自身の実践

「基本的な生活習慣」や「思いやりの気持ち」を教えるのは保護者自身の役割であり、保護者自身も実践していく必要がある。

#### 2 地域・社会全体で支える仕組みづくりの必要性

- ① つながりづくりと次世代育成支援
- ② 子どもを大切にする環境づくりの必要性
- ③ 保護者への学びの支援

#### 行政

1 関係機関等と連携した子育て支援策の推進

2 学びの場・相談の場の充実

3 家庭教育の実践事例に関する研究

#### 家庭教育を充実するための場や機会の整備・情報の提供

- ① 幼稚園・保育園・学校における子育て支援の充実
- ② 子育て支援者の人材養成
- ③ 地域子育て支援拠点の機能拡充
- ④ 関係機関による連絡会の開催やネットワーク化
- ⑤ 情報発信のための協力依頼

#### 保護者への効果的なアプローチの工夫を

- ① 身近な施設における相談や交流の場の充実
- ② 家庭教育を支援する場の充実
- ③ 家庭教育を学習する機会の充実
- ④ 保護者に対する情報の提供

#### 研究成果の還元を

他都市間での情報共有と事例研究

施設開放や子どもの健全育成を目的とした活動を支援する

家庭教育の充実のための子育て支援関係者の養成を支援する

拠点整備推進と子育て関係機関関係者のネットワーク化を図る

公共機関および店舗へのパンフレット等の設置を促進する

地区センターやショッピングモール等の施設も利用した親子の交流の場の開催を支援する

図書館や博物館等の社会教育施設が子育ての拠点となるようにプログラムの充実を図る

家庭教育学級や母親教室の開催を支援する

家庭教育の実践方法などを掲載した冊子を配布する

他都市の事例研究で得た成果を本市事業へ活用する